



川崎いのちの電話

題字：初代理事長 近藤俊朗

特集 子どもの被害のための ワンストップセンターを増やしたい



二ヶ領用水・大石橋＝川崎市高津区

ひとりで悩まずに電話相談
044-733-4343



vol. **114**
2025. 7. 1

CONTENTS

- 特集** 子どもの被害のためのワンストップセンターを増やしたい
認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ
代表理事 飛田 桂弁護士 事務局 清水 瞳さん
- 委員会レポート** 財務委員会の活動について
顧問・前財務委員会委員長 安達 成功さん
- 電話相談受信件数** 2024 年の電話相談の状況
- インフォメーション** 「トリオ・リベルタ」コンサート (12月26日開催)
こころの健康セミナー (9月28日開催)

自死遺族ほっとライン

044-966-9951

第2・4木曜：正午～午後4時

自殺予防いのちの電話 (フリーダイヤル)

0120-783-556

毎日 午後4時～夜9時
毎月10日 午前8時～翌朝8時

インターネット相談

<https://netsoudan.inochinodenwa.org/>
(アドレスが変わりました)

社会福祉法人 川崎いのちの電話

事務局：〒211-8690 川崎市中原郵便局私書箱17号 ☎ 044-722-7121 発行人：張 賢徳 編集：川崎いのちの電話広報部 URL：https://kawasaki-inochinodenwa.jp/

本印刷物は赤い羽根共同募金により作成しています。

特集

子どもの被害のための ワンストップセンターを増やしたい

認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ

児童虐待や性暴力の報道が後を絶ちません。虐待や性被害を受けた子どもたちのワンストップセンターとして、様々な機関と連携しながら活動している「子ども支援センターつなぐ」の代表理事飛田桂弁護士と事務局の清水瞳さんに、子どもたちの代弁者としてどのように活動しているか聞きました。

なぜ「つなぐ」を立ち上げたのか

児童虐待が後を絶たない中、日本にもアメリカのような、被害に遭った子どもを守るワンストップセンター CAC^(注)が必要と考え、NPO 法人「子ども支援センターつなぐ」を立ち上げました。神奈川県立こども医療センターの田上幸治医師と弁護士の飛田桂が代表理事を務めています。「つなぐ」はできてから 5 年しか経っていないので、まだまだ駆け出しの団体です。

子どもたちの被害のうち、特に性被害は、子どもはそれが性被害だと気付いていないことも多いので、その一端を見つけたらしっかり全部調査することが大切です。日々繰り返し受けている虐待について逐一覚えている子どもはいません。お医者さんに頭のとっぺんからつま先まで全身を丁寧に診てもらったと、ここにも、ここにも痣があったことが分かることもあります。「あれ、これは虐待じゃないのか」ということを誰かが気付いたら、調査を開始して、その子たちの体に残っている打撲痕などをきちんと写真に撮ったり、カルテを作ったり、暗示や誘導にならない方法で話を聞き、それを記録化することがすごく大事です。

この方式は欧米ではもうずっと前からやっていて、アジアでもかなりされています。韓国・東南アジアでも、ユニセフがお金を出して、チルドレンアドボカシーセンターという子どものワンストップセン

ターを作っています。形は違えど他の国にはそういう仕組みがあるのですが、日本は先進国としては珍しく、そうした社会システムが無い国なのです。

子どもが何らかの被害に遭った時に、初期に、きちんとその時の証拠とか、子どもの言葉を残して、その子の身に何が起きたかを確認するというシステムが日本には無いのです。それがすごく大きい問題なので、ワンストップセンターが必要だということで「つなぐ」を設立しました。

注：Children's Advocacy Center

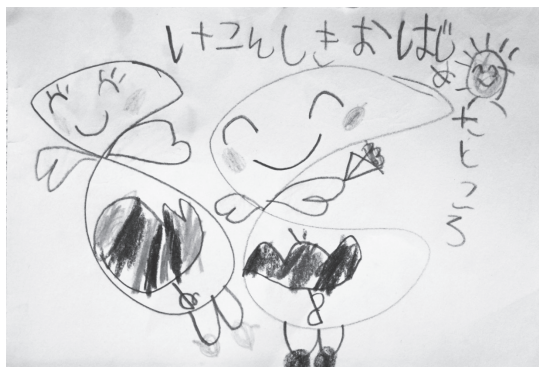
司法機関と児童相談所、医療、教育、保育施設の関係者らが連携して、虐待や性暴力を受けた子どもの被害回復を図る場

関係機関による対応の限界

虐待に関しては児童相談所の役割とされていますが、全く違います。何かが起きた時は児童相談所と考えるでしょうが、児童相談所は法律上、虐待が疑われる時しか動けないのです。ここで言う虐待とは日本では保護者からの加害です。例えばお母さんの彼氏からの加害は、第三者加害に入ってしまう、厳密にいうと虐待にはなりません。これは性被害ではありますが、虐待ではないので児童相談所が取り扱うものには含まれないことも多いのです。児童相談所が取り扱っても違法ではありませんが、本来の業務ではないので児童相談所によっては、それは扱えませんと言っても構わないことになります。

警察に行けばと考えるでしょうが、警察は犯罪事実が疑われた時は動けますが、「疑わしい」だけでは動けないのです。子どもたちは、自分から「私はレイプされました」とか、「叩かれました」とかははっきり言えることはまれです。「なんか嫌な感じがした」とか、「あの男の人が家に来て嫌なことをした」という段階だと、「これは犯罪事実ではありませんので」と警察は動けない。

学校で担任など気付いた先生がいるかもしれない





飛田 桂 (ひだ けい)

東京都立大学法学部卒
2014年1月 弁護士登録
2014年～2018年 日本大通り法律事務所
2018年～2022年 ベイアヴェニュー法律事務所開所
2022年 飛田桂法律事務所開所

認定 NPO 法人子ども支援センターつなぐ代表理事、NPO 法人神奈川こども未来ファンド理事、川崎市人権オンブズパーソン、早稲田大学社会安全政策研究所招聘研究員、公益法人あすのば監事

清水 瞳 (しみず ひとみ)

認定 NPO 法人子ども支援センターつなぐ事務局 司法面接者



けれど、通報先がない。この子、様子がおかしいな、と養護の先生が思っても、連絡先がないのです。日本は親権が強いから、親との関係を気にして初動が遅れたりする可能性もあります。おかしいと感じる段階では、児童相談所などに連絡を入れても何もできないのです。

「つなぐ」は、子どもからの直接の相談窓口ではなく、子どもからの話で被害があるかもと気付いた人からの相談窓口です。自分で気付ける子どもなら、周りの人に相談したり、児童相談所に行ったりできますが、ここは、気付いた人たちが集まって、警察や児童相談所の人と面接するなど必要な調査をしています。アメリカの CAC のようなシステムはできていないのです。

こういうセンター的なもので稼働しているのは「つなぐ」と、伊勢原市にある「CAC かながわ」くらいです。そこでは司法面接^(注)が行われ、医療者による系統的全身診察がされ、その後のケアもされていると聞いています。「つなぐ」と「CAC かながわ」、神奈川県に二か所ありますが、全国でも二か所です。なぜなら国からの助成金も全く出ていないし、ワンストップセンターが無いこと自体、誰も気付いていないのです。

注：虐待や被害を受けた子どもから、できるだけ正確に、誘導なく、負担なく話を聞く面接技法

「つなぐ」が提供する 4 つのこと

大きく 4 つの柱で事業を行っています。

*話を聞く

> 司法面接・系統的全身診察で子どもから話を聞く >

子どもたちが被害を話すことは、大きな負担となります。司法面接では、できるだけ負担を少なくするよう、誘導的・暗示的な聞き取りにならないように、研修を受けたスタッフが聞き取ります。面接後、必要に応じて、系統的全身診察^(注)の実施や心のケアにつなぎます。

注：性虐待被害が疑われる子どもに対し、専門的な研修を受けた医師が行う全身の診察

*一緒に乗り越える (付添犬)

> 子どもが被害について話す支援をする >

子どもが安心して話したいことを話せるように、また話したくないことを話さないでいられるための支援をしています。また、話す前の苦しみも、話した後の苦しみも含め、その後の人生への影響を一緒に乗り越えるサポートをさまざまな手段で行います。一緒に乗り越えるために、「つなぐ」の活動にはとても大事なパートナー「付添犬」がいます。付添犬は専門の訓練を受けていて、大型の



ゴールデンレトリバーや小型のチワワなど 12 頭が活動しています。

*暮らしを支える

<子どもが自分を大切に暮らすため生活支援をする>

被害を受ける環境を離れ、安定した衣食住を得られたところで支援が終わるわけではありません。子どもが一日でも早く「自分自身を大切にする生活」を送るため、どんな小さなことでもサポートしています。一人ひとりのニーズに応じた伴走支援を実施しています。

*支援の輪をつなぐ

<大人が子どもをサポートできる体制を整える>

子どもに必要な支援を正しく届けるためには、様々な場面で子どもに関わる大人が知識を持つことが必要だと考えています。子どもの虐待防止や、被害を受けた子どものための支援について多くの方に知っていただくためにイベントやセミナー・研修を実施しています。

相談への対応方法

相談を受けた時、話した内容について評価をせず、驚いたり感情を出さないことに気を付けています。子どもに、「そんなにひどいことがあったの」と言ってしまうと、その子は「その内容はひどいことなんだ」と思ってしまいます。「それは警察に行くべきだよ」と言うとその瞬間、「警察に行くような大変なことをしゃべってしまった」と思って、話をするのをやめてしまう可能性があります。だから話をし始めた段階では一切評価しないで、とにかく話を聞きます。「相手にどうやって共感を示したらよいですか」と聞かれますが、リフレクションと言って、子どもの話してくれたそのままを繰り返す。例えば「すごいむかついたの」と言ったら、そこは「むかついたんだね」とすこし間を取るようにして、「むかついた気持ちには共感しているよ」と伝え、こちらからの言葉を足したりはしないようにしています。

被害者と加害者との距離感

難しいと思っていることがあります。子どもと加害者との距離感がとれていない場合のことです。特に物理的な距離ができていない時。同居しているかどうかということだけでなく、最近、SNS などをつながっている場合があります。お金でつながっていると。その場合は相手に事実上支配されてしまっているのです。子どもたちに分離の話をする時、必ず、物理的分離、精神的分離という話をします。仮に物

理的に分離されていても精神的に分離されていなければやはり支配下にあるのです。支配下にある子どもたちは加害者に迎合します。加害者に迎合する子どもに対して、「あなたは被害者なんだから加害者を憎みなさい」と言うような話をしたら、その子はショックを受けてしまいます。自分は迎合しているつもりもなく、気付いたら支配されているのです。その時は、「お父さんのこと好きっていう感情でいいんだよ」と言って、気持ちは受け止め、ただ「お父さんのした行為はやっぱりそれは悪いことになるんだよ」と説明します。でも「好きな気持ちはあっていいんだよ」と言った上で、並走してあげ、精神的な分離を図ってあげないと、また元に戻ってしまいます。これがかなり難しいと思っています。

実態調査報告書から

「つなぐ」では、2021 年に続き、2023 年にも、性虐待、性被害を受けた子どもたちが、どのような被害を受けたかのアンケート調査を、全国の児童相談所、弁護士会を対象に実施しました。

被害者の性別は、男の子もいますが、女の子の方が圧倒的に多いという結果が出ています。被害を受け始めた年齢は 2 歳から。加害者の属性については、実父が最も高く、次いで養父、継父で全体の 7 割を占めていました。法的対応については、逮捕されたケースは全体の 2 割で大半は逮捕されていません。起訴されたことが判明したケースも全体の 2 割に満たない数です。起訴に至らなかったケースは、「捜査の進捗状況が進展せず、保護の長期化により処罰感情がなくなった本児から被害届が出ない等の理由で捜査終了となった」など、子ども側が処罰を希望しないという理由も見られたようです。

「つなぐ」は、性被害や性虐待を受けた子どもたちが、どこにいても、どんな場面でも、司法手続、医療、学校、生活などを一緒に乗り越えることを目標にして活動しています。それでも、子どもたちの傷つきは深く、私たちの手からこぼれ落ちてしまいます。だからこそ、こぼれ落ちないようなことを全てして、大切にサポートしていかなければならないと思っています。





財務委員会の活動について

顧問・前財務委員会委員長 安達 成功



川崎いのちの電話の財務委員会は、どのような活動をしているのか報告します。電話相談は、無償のボランティア相談員によって継続され、活動を維持するには年間 2000 万円の費用が掛かり、活動を支えるには安定した資金が必要です。

収入は川崎市と神奈川県補助金や受託費で、毎年約 1000 万円が固定収入。あとの 1000 万円は一般の方々の寄付金が 7 割と、コンサートと落語会の開催収入が 3 割。この収入では活動費用を賄うぎりぎりの状態です。主な費用は、相談員養成研修、施設維持管理費など。7 割を占める寄付金が減少したら、活動は縮小せざるを得ません。資金を増やす方法は、コンサートの集客力と、寄付金を増やすしかありません。



(2024 年度 財務委員会メンバー)

寄付件数は、160 万人都市の川崎としては非常に少なく、年間約 350 件で、近県のいのちの電話の寄付金では一番少ない。寄付金の増額を目指すには、いのちの電話活動に共感を持つ方々を増やすために、広く一般社会に向けての啓蒙活動が重要です。

その一環として昨年 12 月 7 日 8 日にかわさき市民祭りに、「川崎いのちの電話」のコーナーを初めて設け、大きな反響呼びました。

ライオンズクラブの機関紙に、活動の記事の特集を掲載し、この広報誌をダイレクトメール送付して啓蒙活動を継続しています。過去寄付を頂いた方にも送付し、毎年の寄付金が途絶えないようにすることに効果があります。

寄付を集める財務委員として、うれしいことは、いのちの電話の活動に大きく賛同し、毎月 2 万円、1 万円と継続寄付をする方、毎年 10 万円を寄付する方、日々ご苦労されている相談員からの寄付です。川崎以外の寄付もうれしい限りです。

孤独や不安で悩んでいる方々の、相談窓口である「川崎いのちの電話」の健全な発展を願うには、理解のある方を増やし、裾野を広げていくしか方法はないようです。

2024 年川崎いのちの電話の相談件数

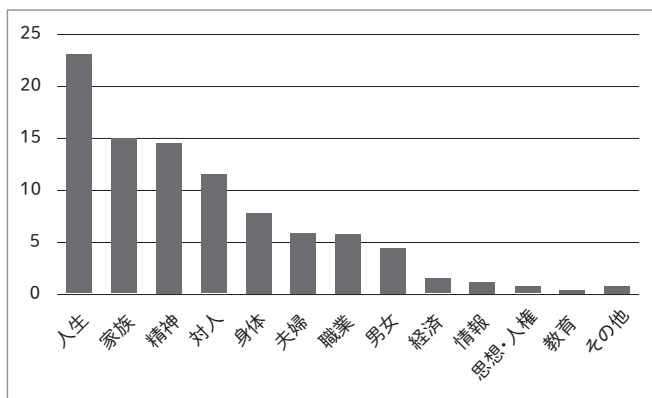
■ 2024 年の相談電話受信件数は 1 万 2794 件

「川崎いのちの電話」2024 年の受信件数は 1 万 2794 件で男性 46.2%、女性 52.9%、その他 0.8% でした。そのうち、自殺傾向のある相談件数は全体の 7.5% で、男性 381 件、女性 584 件、その他 6 件です。

内容別では、「人生」が 2955 件（全体の 23.1%）で最も多く、「家族」1929 件（15.0%）、「精神」1864 件（14.6%）、「対人」1476 件（11.5%）、「身体」996 件（7.8%）、「夫婦」751 件（5.7%）、「職業」738 件（5.9%）、「男女」562 件（4.4%）の順になっています。

年代別では、50 代が 3019 件（24.1%）、60 代 2373 件（18.5%）、40 代 2359 件（18.4%）の順になっていて、40 代～60 代の相談件数が 60% を超えています。続いて、30 代 1475 件（11.5%）、70 代 1095 件（8.6%）、20 代 731 件（5.7%）の順になっています。

%



2024年 相談内容割合

理事長の交代に関するお知らせ

12 年余り理事長を務めた金子圭賢の退任に伴い、2025 年 6 月 16 日付けで張賢徳が理事長に就任しましたので、お知らせします。

インフォメーション

【問合せ】川崎いのちの電話事務局
TEL:044-722-7121 (平日10:00-17:00)
ホームページ <https://kawasaki-inochinodenwa.jp/>



川崎いのちの電話チャリティー・コンサート

トリオ・リベルタ コンサート 12月26日 開催

【日時】2025年12月26日(金) 14:00 開演
【会場】エボックなかはら(南武線 武蔵中原駅すぐ)
【料金】指定席 5000円 自由席 4000円
【出演者】石田泰尚(ヴァイオリン)、中岡太志(ピアノ・ヴォーカル)、松原孝政(サクソフォン)
【曲目】未定
【チケット購入方法】
①郵便振込(申込開始日 未定)
通信欄に住所、氏名、電話番号、希望枚数、合計金額を記入して、右記の口座へお振込みください。入金確認後チケットを郵

送いたします。発送までに3週間ほどかかる場合もあります。また、振り込まれた後の返金はできませんのでご了承ください。(口座) 00200-1-130682
「川崎いのちの電話事業推進委員会」
②チケットぴあ(発売開始日未定)
・セブンイレブンで直接購入(Pコード:未定)
・ホームページ(<https://t.pia.jp/>)から申込み購入(Pコード:未定)
詳細については決まり次第「川崎いのちの電話」のホームページなどでお知らせします。

こころの健康セミナー「こころとからだのメンテナンス」(仮テーマ)

【日時】2025年9月28日(日) 14:00～16:00
【会場】エボックなかはら7階大会議室(川崎市中原区上小田中、JR南武線武蔵中原駅徒歩1分)
【内容】第1部 お酒と健康の両立を目指して～後悔しないアルコールとの付き合い方～ 講師 瀧村 剛(久里浜医療センター)

第2部 こころとからだのメンテナンスに関する体験型のセミナーなどの実施を検討中
詳細や申込み方法については、決まり次第川崎市のホームページに掲載されます。



ホームページ
QRコード



資金ボランティアとしてのご支援を！

川崎いのちの電話の活動は、皆様の温かい支援によって運営されております。多くの方のご協力をお願いいたします。賛助会員・一般寄付金とも所得控除など税制上の優遇措置の対象になります。従来の郵便局(ゆうちょ銀行)や他の銀行からの振込のほか、リサイクル募金(きしゃぼん)、スマホやパソコンからクレジットカードで寄付していただくこともできます。詳しくはホームページをご覧ください。

①賛助会員

法人	10万円	5万円	3万円	1万円	
個人	5万円	3万円	1万円	5千円	3千円

②一般寄付(金額、回数を定めません)

【振込先】■郵便振替 00240-2-36798
社会福祉法人 川崎いのちの電話

寄付感謝報告

2025年1月～
2025年4月

川崎いのちの電話のために、温かい資金援助をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。この事業の発展にこれからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

【個人】

(1月)	白石 弘巳	佐藤 誠	長掛 栄一	松岡 信子	伊藤 靖子	吉田美佐子
坂尾 宜徳	碓井 正之	澤 洋子	中由 光徳	渡邊 新治	千田 智子	早崎 悦一
三國 祥子	岩崎 純子	浅田 美子	村上カズコ	石原 敏光	山本 直正	関 聖一
藤岡 勝	深瀬 正子	齊木 貴	今野タネ子	亀ヶ谷 修	(4月)	小林美年子
山田美和子	高橋 勉	小松 終子	久保美矢子	立川 典子	山田美和子	小林 晃一
安田 享二	荒川 米市	藤嶋とみ子	碓井 正之	丸島 知子	小出 慶一	田崎 美波
北條 美和	(3月)	塩島えり子	小林 直人	山本 苑子	金井 勉	羽倉のり子
(2月)	大鋸 甚勇	漆原 敦子	大塚ふみ子	栗井 清	小島 良子	匿名希望7名
平井 智子	吉田 久弘	石原 淳子	米山 信二	高木 弘美	山岡 道夫	

【団体】

日本キリスト教団元住吉教会教会学校	日本キリスト教団元住吉教会	(株)ティーカラー	(株)多摩設計
日本キリスト教団川崎教会教会学校	日本キリスト教団溝ノ口教会	(株)由貴工務店	(有)坂本木工所
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区糖尿病・四献・いのちの電話委員会	おくせ医院		
YOKOHAMA BELL ライオンズクラブ	学捜真女学校	カリタス学園同窓会	リサイクル募金きしゃぼん
高津区鎮座白髭神社	(株)太平商事	日本キリスト教団新丸子教会	共同購入
			募金箱

【10万円以上の個人・法人及び各種団体】

川崎田島ライオンズクラブ(10万円)	川崎西ライオンズクラブ(10万円)	安達 成功(10万円)	櫻井 貴裕(10万円)
(社)生命保険協会神奈川県協会(15万円)	(株)アップ総合企画(10万円)	穴戸 信次郎(12万円)	金子 圭賢(10万円)
			合計 1,774,485円

編集後記

「つながぐ」のインタビューで、健やかに育むべき子どもたちの環境に様々な事情があり、必ずしも安全に守られていない現状があることを知りました。ひとりでも多くの子どもたちが愛に守られた安心・安全な環境の下で、幸せな将来に結び付くことを祈らざるを得ませんでした。「つながぐ」のような子どもの心を第一に考えて活動する施設の拡充が急がれます。

転じて目を世界に向けて、日本とは比較にならないような厳しい状況が子どもたちを取り巻いており、その対策も日本より進んでいる国が多くあります。我が国も現状に甘んずることなく、明るい未来を作るために子どもたちに関する対策の充実を図ってほしいものです。(NAZU)

